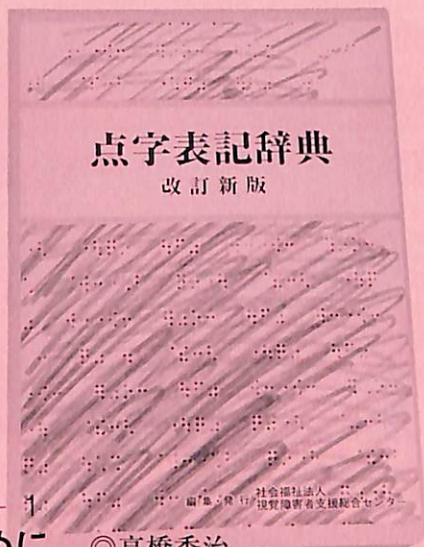


視覚障害

その研究と情報

181号

2002
September



特集 ●

街を安心、快適に歩くために ◎高橋秀治

一点字サインガイドラインを全国基準へー

talk to talk ● 23

政府との交渉が主な目的 ◎マーク・マウアー／笹川吉彦

シリーズ働く ● 32

視覚障害者のITサポートに取り組む

「株式会社ラビット」 ◎直居 鉄

今を走る ● 42

高知女子大学講師 吉野由美子さん ◎香川スミ子

★ 52

『視覚障害』総目次 No,171～No,180

■ブレイルノート (点字ディスプレイ)

ブレイルファミリー
対応機種

KGSの点字技術を集大成したスマートかつハイエンドな点字ディスプレイ

Braille Note 46X

BN46X ¥449,000 (非課税)

新登場

●点字ディスプレイ「ブレイルノート」は、点字利用者のパソコン利用の強力な支援ツールとして、正確でリアルタイムな点字情報を伝達する必携コミュニケーションツールです。新開発「ブレイルノート46X」は究極の点字ディスプレイとして、さまざまな便利機能を付加した、コストパフォーマンスに優れた、スマートでコンパクトな世界最先端の点字ディスプレイです。

●点字文書の読み書きや校正はもちろん、時計、アラーム、カウントダウン・タイマー、ストップウォッチ、カレンダー、電卓など、日常生活の中で便利に使える機能やスケジュール帳、表の集計機能など、身の回りの情報管理に役立つ機能を内蔵、これらの機能は、点字ディスプレイ機能と平行して動作しますので、本体内部の文書を読みながら、パソコンを操作することが可能です。



Braille Note 46D

¥449,000

新価格 さらにお求めやすくなりました。

¥349,000

■ブレイルメモ®

ブレイルファミリー
対応機種

あらゆるシーンで活躍する点字利用者の必携情報機器

Braille Memo BM16

Ver1.2.1 198,000円 (非課税)

片時も手放せないほど重要な存在となったブレイルメモは、昔ながらの不便な点字利用環境を根底から覆すほどのインパクトを持った新しい情報機器として、点字利用の便利さ、有効性を再認識させ、点字文化をダイナミックに継承して行く最新便利ツールとして、着実に浸透、普及し始めました。ブレイルメモ16は8点16マスの点字表示部と各種入力キーをそなえた、バッテリー内蔵の小型軽量な携帯仕様で、いつでも、どこでも手軽にメモを取ったり、時計、電卓、カレンダーなど便利なアクセサリ機能を利用して、日常必要な身の回りの情報をしっかりと管理、あらゆる場面で、情報の有効利用ができる必携ツールです。



●カラーは、ブルーとピンクの2種類をご用意しています。

■点字ラベラー

ブレイルファミリー
対応機種

BL-100

¥98,000

点字用テープ

Aタイプ:250枚 ¥3,900

Bタイプ:250枚 ¥3,700

Cタイプ:250枚 ¥3,500

簡単なキー操作で、液晶画面に表示された文字を選ぶだけで自動点字変換され、透明でフレキシブルな点字ラベルが作れます。点字名刺、薬袋、CD、食事メニュー、階段やエレベーターの案内、その他、手軽に点字情報を作って、視覚障害者をバックアップしましょう。



■拡大読書器

ブレイルファミリー
対応機種

MLA14

カラーモニター付
¥198,000~

(日常生活用具、非課税)

スウェーデンの専門メーカーが永年培ってきたノウハウと最新技術で生産された、コストパフォーマンスに優れた高品質な拡大読書器: Magnilinkシリーズ。(MLA14、MLA17、MLC15、MLC、MLP14)



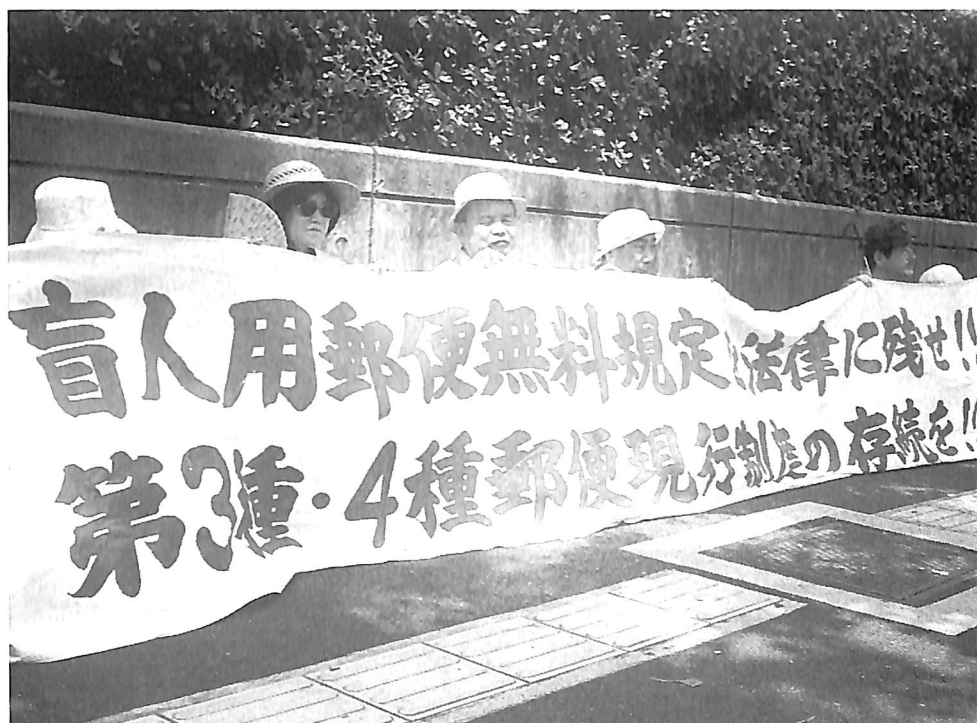
■立体コピー作成機 (ピアフ)

苦勞して作っていた図面もカプセルパーバ利用のこの装置で簡便作成。

■点字プリンタ (ベーシックD、エベレスト)

スウェーデンの専門メーカー、インデックス社の使い易い操作性と経済性に優れた、点字プリンタです。

盲人用郵便物の無料存続などを 求めて座り込み



第154回国会で最重要課題として注目をあつめた郵政関連法成立をめぐり、多くの障害関係団体が第3種・第4種郵便物の割引・無料制度の存続を求めて運動を展開しました。

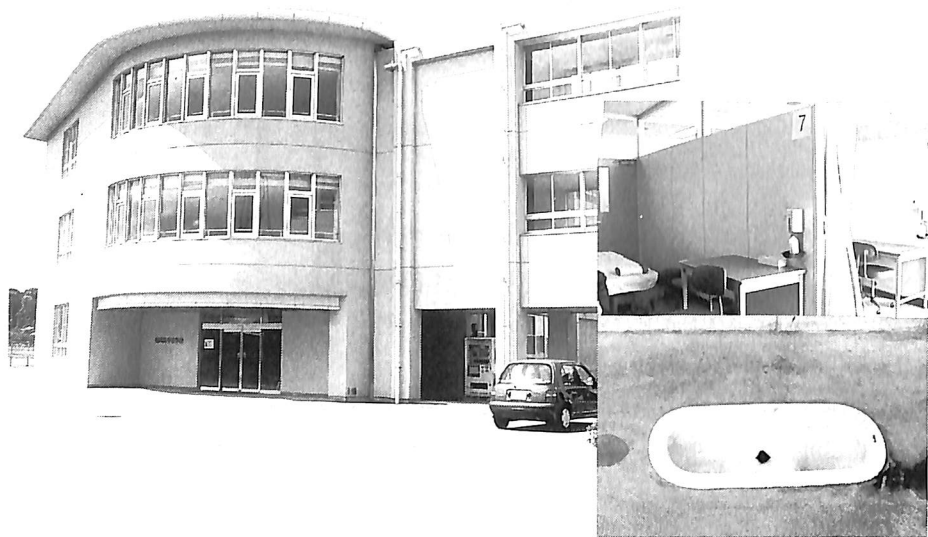
「盲人用郵便物の無料存続を法律に盛り込め」。

全日本視覚障害者協議会（全視協）と郵便産業労働組合は、衆議院本会議にてかろうじて附帯決議として可決されたこの存続問題について、初期の目的を実現させるために、閉会前の11日間、参議院会館前で18都府県からの関係者延べ300人による座り込みを実施。視覚障害者の参考意見を聴取すると共に法律に明記するよう要望していました。

西の高等盲と最先端の研修センター

福岡県立福岡高等盲学校は、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律」に基づく学校として、平成8年に、筑紫野市の福岡県立福岡盲学校の隣接地に開学した学校です。

「敬愛」「自立」「礼節」の校訓と「社会性」「自ら社会に貢献できる人間たれ」の建学の精神の下、高度な専門教育を施す同校には、9900㎡の学校敷地の約3分の1を占める真新しい3階建ての実習棟があり、臨床室、臨床検査室、機能訓練室、カルテ管理パソコン室などの他、広い待合室や盲導犬同伴の施術者に対する盲導犬用トイレなども設備されています。臨床室は、病院の診察室を思わせる7つの個室になっており、施術者が入りやすいよう施術者側の入り口が1つにつながり点字ブロックが敷設されています。上下自動稼働式のベッド、サーモグラフィ・ポリグラフ・運動負荷心電図などの各種検査機器も配備され、鍼・灸・手技療法の外来治療を施しています。



(文・撮影／橋本京子)

ドイツの盲人公園 (Blindenpark)

ドイツのライプツィヒほど、緑がたくさんある都市もめずらしいものです。中央駅から車で5分ほど走ると、バラで有名なローゼンタール公園があり、ここからさらに広葉樹の森につながっています。

盲人公園は、1986年、旧東ドイツの時代、ローゼンタール公園のなかにつくられました。園内の案内図、植物の説明などが、ブロンズ板に点字で記されています。ゴミは落ちていないし、点字板もピカピカに手入れされて、市民が大切にしている場所ということがわかります。



(文・撮影／藤村美織)

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

—— 次号（2002年11月 No.182）予告 ——

特集1 海外で視野を広める人たち…… 塩谷治

特集2 日本で暮らす留学生…… 中野純子

ルポ 中途失明者の自立を考える——当事者4人の語りから…… 柏倉秀克

シリーズ働く デイケア施設「レモンの木」

今を走る 浜松で教鞭をとる河合純一さん……金森なを

視 覚 障 害 —その研究と情報—

2002年9月 No.181

年間購読料 4,200円（送料とも）

発行日 2002年9月1日

編集人 高橋 実

（連絡先）社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター

〒167 - 0043 東京都杉並区上荻 2 丁目37番10号 Keiビル

電話 (03) 5310 - 5051 (代) FAX (03) 5310 - 5053

<http://www.siencenter.or.jp/>

振替口座 00160- 4- 16103

発行人 障害者団体定期刊行物協会

〒157 - 0073 東京都世田谷区砧 6 - 26- 21

印刷所 株式会社 大活字

〒101 - 0061 東京都千代田区三崎町 1 - 1 - 9 三崎町ビル 3 階

電話 (03) 5282 - 4361 FAX (03) 5282 - 4362